

平成30年度 事業報告

平成31年3月31日
おおぞらこども園

1. こども園の運営

(1) 所在地 貝塚市二色2丁目11-1

(2) 定員 90名(実数101名)

職員配置 (平成30年4月1日現在)

内訳

・園長	1名	・事務長	1名	・主幹保育教諭	2名
・副主幹保育教諭	1名	・保育教諭	22名	(主幹保育教諭・副主幹保育教諭含む)	
・管理栄養士	1名				
(委託	給食室	調理員	4名	安全指導員	2名)

2. 教育・保育目標

教育基本法及び就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づき「心身ともに健全で豊かな人間関係をもつ子どもの育成」を目指す。
全ての乳幼児に、“等しく”“心身ともに健全な生活と発達”“福祉と教育”を保障すべく愛ある保育と教育の振興と推進を目的とする。

- * 人権を守り一人ひとりを受容する。
- * くつろげる環境の中で体験的遊びを通して総合的な教育・保育を行う。
- * 一人ひとりの発達を理解し、主体活動を重視しながら生活のリズムを大切にする。
- * 国際的視野を持ち家庭的な教育・保育を行う。
- * 安全環境づくりに取り組み地域に根ざすこども園運営を目指す。
- * 教育・保育アセスメントを基にした教育・保育実践の中で、思いやりの心を育み健全な心と体づくりに取り組む。
- * 子ども一人ひとりの可能性を伸ばし、のびのびと遊び自ら考え行動する力を培う。

3. 教育・保育基本方針

笑顔とぬくもりある「大きな家庭・大きな家族」づくりをイメージテーマにし、子どもたちの笑顔溢れる「癒し・励まし・安らぎの場」の中で、「心からの笑顔」と「人を思いやる広い視野と心」を大切に培っていく。

- ・一人ひとりの発達に即した見通しを持ち、保護者や地域の人々との協力体制の中で保育と教

育を行う事を目指した。

- ・ 保育と教育を総合的に捉え、異年齢交流・世代間交流・地域交流・異年齢児交流・地域子育て支援・自然環境との触れ合い等をキーワードにして、幅広い社会性と、教育や素養の一端に触れる機会を設け、慣れ親しみ、将来の知力・能力・洞察力等を育む保育と教育を目指した。
 - * 笑顔であいさつができる明るい子ども
 - * 人の気持ちがわかり考え行動できる優しい子ども
 - * 動植物に親しむ感性豊かな探究心ある子ども
 - * のびのびと遊べる元気な子ども
 - * 広い視野と健康な心をもつ子ども

幼保連携型認定こども園 教育・保育要領に基づく全体的な計画を中心に、各指導内容の充実を図った。

0歳児

一人ひとりを愛し守りながら、信頼関係と心身の健康な発達を育む教育と保育。

1・2歳児

親子の愛着関係の形成を支援し、一人ひとりの自我の発達に即した、見通しを持った教育と保育。

3・4・5歳児

知的好奇心や探究心が育み、のびのびと遊び、人を思いやる心・自分で考え行動できる力・健康な体力、そして、豊かな感性を培う教育と保育。

教育・保育時間

< 1号認定 >

開園時間 月曜日から土曜日（日曜日、祝日〔年末年始等〕を除く）

基本時間

月曜日～金曜日 : 午前9時～午後3時30分

土曜日 : 利用不可

休園日

土曜日、日曜日、国民の祝祭日、創立記念日

お盆期間: 8/13(月)～8/17(金)

年末年始: 12/25(火)～1/4(金)

春休み: 3/28(木)～3/29(金)

感染症発生により園長及び学校医が必要と認めた時

災害発生時

< 2・3号認定 >

開園時間 月曜日から土曜日（日曜日、祝日、〔年末年始等〕を除く）
保育短時間 午前9時00分～午後5時00分（午後5時以降別途有料）
保育標準時間 午前7時00分～午後6時00分
延長保育時間 午後6時01分～午後7時00分（別途有料）

日曜日、国民の祝祭日、創立記念日

希望保育：8/13(月)～8/16(木)

年末年始：12/29(土)～1/4(金)

感染症発生により園長及び学校医が必要と認めた時

災害発生時

○教育・保育内容

今年度の教育・保育共通テーマは 挑戦 とする。一人ひとりがより一層輝き、自信となるよう園生活の充実に努めた。

<各クラス研究課題>

子どもたちへの発達段階などを踏まえた教育・保育環境を整え、研究課題をもって下記の保育と教育に努める。

あひる組	様々な素材に触れる	ひよこ組	リズム・歌遊び
つばめ組	絵本の世界	ひばり組	製作遊び
かもめ組	五感で楽しむ	はと組	言葉から広がる保育

平成31年3月16日（土）に園内研修で研究課題について発表を行った。
（パソコン6台とパワーポイントを使用して研修の充実に努めた。）
その成果は、平成31年6月にホームページで研究内容を公開予定である。

<具体的な取り組み>

おおぞらこども園では、くつろげる環境の中で自分の好きな事、あるいは得意な活動を自ら選ぶ事ができる総合的な教育・保育カリキュラムを用意した。

クラスデイ : それぞれの年齢に分かれた、通常クラスでの設定遊び。
おおぞらカフェ : 自ら興味関心のある遊びを選択する。
ネイチャーデイ : 立地を活かした、自然や身近な社会との触れ合いと遊び。
フュージョンデイ : コーナー保育を活かした全年齢シブリング（兄弟・姉妹交流）
ファミリー活動・土曜日保育等。

○教育・保育主体的遊び

3・4・5歳児クラス

<おおぞらカフェ>...ピラミッドメソッド

(3・4・5歳児クラスの縦割り保育)

3・4・5歳児クラスのお部屋でコーナー遊びや戸外遊び等を楽しむ。

おおぞらカフェの前日、白板に遊びの内容を明記し、翌日遊びを楽しみに登園出来るようにする。おおぞらカフェの前日と当日に、クラスで担任を中心に円形になり、遊びの選択を皆に伝える。当日の保育終了時(夕方)に、また、同じように円形になり今日の遊びの活動内容等を伝え合う。

テラスにセルフサービス式のレストランを準備し、素敵な音楽・花や観葉植物を置く。

今年度から、おおぞらカフェのコーナーとして つくり工房・おはなし工房・リズム工房 を1つずつ導入した。

ピラミッドメソッドカリキュラム 旧オランダ政府教育評価機構にて開発

目的

○一人ひとりを大切にする事

○豊かな感性を養う教育・保育

○将来、自立して人生の課題を処理する事が出来るように発達を促し、

「指示を待つ」事がなく、登園後の自由遊び・サークルタイム・子どもがしたい遊びを見つけ
て遊ぶ・食事という活動を、無理なくゆったりと展開出来るように努めた。

* コーナー保育を中心に展開

各クラスままごと・知育・ブロック・絵本コーナー等のコーナーの充実を図った。

0歳児・1歳児クラスの担当制保育の充実を図った。

* フェアリーキッズ(自然野外活動)

自然遊学館のご協力のもと、フェアリーキッズ活動を行った。

自然環境に恵まれている市民の森にて、子どもたちが木登り、秘密基地造り等自然環境のもとで様々な体験をし、食事は給食室で準備されたお弁当を食べ、3時頃まで自然学習を楽しんだ。

きしわだ自然資料館に出掛けて本格的に自然の仕組みについて学んだ。

4・5歳児クラス

○知育

- ・ S I あそび (教材: ギルフォード知能教育センター)

基本的に知育は、身近な生活から、聞く力・考える力・好奇心・意欲等を基準に取り入れていますが、4・5歳児は、創造性教育の先駆者 J・P・ギルフォード博士の「知能構造 S I 理論」に基づく S I あそびを使用する。(思考力・創造力を自ら考える子どもに育てる教材)

4歳児クラス主な目標

- ・ 図形の体系を認知する
- ・ 図形の体系を拡散思考する
- ・ 行動の関係を記憶する
- ・ 図形の単位を認知する
- ・ 図形の体系を集中思考する
- ・ 行動の体系を評価する
- ・ 図形の体系を記憶する
- ・ 概念の単位を拡散思考する
- ・ 図形の体系を認知する
- ・ 概念の単位を拡散思考する
- ・ 図形の関係を認知する
- ・ 概念の単位を記憶する
- ・ 記号の単位を評価する

5歳児クラス主な目標

- ・ 図形の体系を集中思考する
- ・ 概念の関係を認知する
- ・ 図形の関係を集中思考する
- ・ 概念の関係を記憶する
- ・ 行動の体系を集中思考する
- ・ 概念の分類を拡散思考する
- ・ 行動の体系を集中思考する
- ・ 記号の分類を評価する
- ・ 図形の体系を拡散思考する
- ・ 記号の分類を集中思考する
- ・ 概念の分類を評価する

4・5歳児クラス

・硬筆

4歳児クラスは年間17回で、最初は鉛筆に慣れ、鉛筆の正しい持ち方(クジャク法)から始まり、クルクル・ギザギザと書き、おもしろいと感じられるように進めた。

鉛筆の正しい持ち方・姿勢・お手本(小学校教科書のひらがなを使用)・4つのお部屋(星・虹・海・花)外形(三角形・四角形・長方形等)・ボディワンワールド指導・呼吸法などを取り入れた。

5歳児クラスは年間20回で、10月頃までに清音を終了し、その後、絵カード遊び・日記を書く・イソップ物語を音読・文章の作成(作文)、文章理解に繋げた。

また、年に8回習字を導入し、初めての墨の匂いに興味津々で、楽しみながらも緊張感を持って進めた。5歳児クラスは硬筆も習字も午後からの活動となる。

4・5歳児クラス

・英語遊び

4歳児授業内容

あいさつと自己紹介

歌 Hello, how are you? What's your name? How's the weather?

There is thunder. Where is father? I can sing a rainbow.

Heads, shoulders, knees and toes. Walking, walking.

Sunday, Monday, Tuesday. Twinkle twinkle, little star. Old Macdonald had a farm.
 今日のテーマ 色・動物・買い物・果物・野菜・服 ・天気・身体・動詞・曜日・家族のみんな
 ・家の中の物 a,b,c,d,e,f,g,..... の発音・ゲーム

5歳児授業内容

あいさつと自己紹介

歌 Let's go shopping. There were 10 in the bed. Do the hokey pokey.

Doe, a deer, a female deer. We wish you a merry Christmas.

The wheels on the bus go round and round. You are my sunshine.

You fill up my senses. The animal song..

今日のテーマ ・乗物・仕事・時間・I get up at 7:30・一日のする事

・I get up and wash my face.できる事 I can play the piano

・形容詞と比較する事 Which is faster ・場所教える事 It's on the table.

部屋の名前 町のいろんなところ Hospital, Library, etc 職業 I'm a doctor.

英語の読み方・ゲーム

・おおぞらステップ（知能教育年10回）

5歳児クラス

その他の知育遊びとして、おおぞらステップを年間10回行った。

おおぞらステップカリキュラムは通常の活動にも連携して展開出来るように努めた。

昨年度、木製100玉そろばんをお部屋に1個置き、数を数える等を遊びの中で学び、また、一人1個のそろばんを使用して数の概念を身に付けるように努めた。

今年度は、大きなそろばんを購入して、視角で理解出来るように努めた。

<げんき工房・体育指導>

4・5歳児クラス

1回目	・積木遊び（数の多少）・数の認知・模倣構成 ・立体の展開
2回目	・積木遊び・時刻を理解する（時計の模型使用、時計を読む） ・数の認知
3回目	・正しい数字の書き方・数字の練習・積木カード・数の復唱・数の認知
4回目	・正しい数字の書き方・数の認知・順位（序）・数の復唱 ・絵カード・絵カードを見て数の認知・そろばん
5回目	・正しい数字の書き方・数の認知（数を数字に置き換える）・順位（序）数 50までの数表・そろばん
6回目	・正しい数字の書き方・合成分解（答えから、数を考える）・そろばん
7回目	・ギルフォード社の知育教材の積木遊び ・合成分解・文章問題・そろばん
8回目	・合成分解・文章問題・そろばん
9回目	・合成分解・文章問題・そろばん
10回	・合成分解・文章問題・そろばん

0歳児クラスから5歳児クラスまでの運動遊び計画のもと、5歳児クラスになれば三点倒立が無理なく出来るように努めた。

体育指導の指導員と連携をとり、当園独自の運動遊び・げんき工房と体育指導が、各々の関連性をもちより効果的な指導内容となり体力強化に繋がった。

* 2歳児クラスは園庭で、3・4・5歳児クラスは第五中学校校庭でランニングを行った。

* 体育指導で5歳児クラスは剣道を導入し、その成果を運動会で公開した。

<プレゼン>

5歳児クラスが園内の不思議探しを行い、自分で疑問（不思議）に感じた場面を自分達でカメラに撮った。その写真をプロジェクターで放映しながら、ひとり一人がマイクを使用して発表を行った。（3・4・5歳児クラスの園児の前でプレゼンを行った。）

○わきはまこども園との園児交流（5歳児クラス）

田舎体験「紀泉わいわい村」・雪遊び「六甲山スノーパーク」等

園外保育

月	場所	クラス	交通手段
4月	郊外保育（二色の浜海公園）	5歳児	徒歩
5月	郊外保育（二色の浜海公園） 田舎体験（紀泉わいわい村） わきはまこども園合同	4・5歳児 5歳児	徒歩 *バス
7月	お泊り保育（紀泉わいわい村）	5歳児	徒歩*バス
10月	郊外保育 貝塚市連合協議会主催 秋の集い	2・3歳児 5歳児	*バス *バス
11月	みかん狩り	4・5歳児	徒歩・電車
12月	雪遊び「六甲山スノーパーク」 わきはまこども園合同	5歳児	*バス
3月	きしわだ自然資料館	5歳児	徒歩・電車

* 0歳児～5歳児までの散歩等戸外活動を通して、自然と触れ合う事を重視した活動。

* 年5回バスを利用した郊外保育実施。

○食育の取り組み

・食育活動を家庭や地域へのアピールに努めた。

浜手地区公民館お知らせボードに給食だよりを掲示した。

・ホームページで「今日の給食」の画像を追加し、職場でも見る事が出来るように充実を図った。食育の内容を毎月19日前後に実施した。

- ・異文化食育活動に努めた。
- ・給食だよりで給食メニューを一部写真で解りやすくし、月平均栄養価に加え、毎日のエネルギー量を掲載した。
- ・離乳食の充実を図った。
- ・給食を淀川食品株式会社に移行し、充実した給食に取り組みを行った。
- ・給食会議
園内の給食会議で給食メニュー等の改善に努めた。(各月1回)
園内でも年2回、管理栄養士・園長・事務長・主幹保育教諭・調理師で行った。
- ・年間食育計画に基づいた取り組みを行った。
- ・アレルギー対応に努め充実を図った。
- ・管理栄養士が給食メニューの改善(新メニュー)・栄養面・健康に至るまで食の工夫に努めた。

管理栄養士より

こども園の給食は、成長期の子どもたちが1日に必要とする栄養素のおよそ40～50%を補える献立となっている。これに基づき、旬の食材を使用し、素材そのものが持つ味を活かした薄味調理を行った。

使用食材や調味料の見直しを行うことにより、原材料に乳・卵を含まない調味料(マヨドレ、カレールー等)や加工食品(ハム、ちくわ等)を使用した。これによって、食物アレルギーを持つ子どもたちを含めた全園児へ出来るだけ同じ給食を安全に提供することが出来るようになった。また、毎月の給食だよりには、給食室からのお知らせや栄養メモ、給食の献立レシピも掲載した。

○外部コンサート

- * 子どもロビーコンサート
浜手地区公民館 (5歳児クラス)
- * 二色パークタウン街びらき30周年で合唱
貝塚市立二色小学校 (4・5歳児クラス)
- * ミニコンサート
貝塚市立第五中学校体育館 (4・5歳児クラス)

年間行事

月	内容
4月	・はじまりの集い ・郊外保育（海浜公園）
5月	・端午の節句 ・参観 ・尿、0 - 1 5 7 検査・郊外保育（田舎体験）
6月	・歯科検診 ・健康診断 ・個人懇談（希望者） ・祖父母参観
7月	・お泊り保育 ・夕涼み会 ・七夕の集い ・プール遊び、沐浴（0歳児） ・ファミリー活動
8月	・中高生の保育体験実習 ・プール遊び、沐浴（0歳児）・ファミリー活動
9月	・運動会
10月	・秋の集い ・芋ほり ・健康診断 ・創立記念日
11月	・みかん狩り ・消防車来園 ・郊外保育
12月	・ミュージックフェア ・クリスマス会 ・入園申込受付・雪遊び・年末の休み
1月	・お正月休み ・お正月遊び
2月	・節分の集い ・おおぞらウイーク ・個人懇談（希望者）・きしわだ自然資料館
3月	・桃の節句 ・お茶会 ・新入園児面接 ・卒園式

○避難訓練（防犯訓練）

月	災害状況	ねらい
4月	活動中に軽度の地震発生	地震に対する避難方向を理解する
5月	活動中に給食室から出火	給食室出火時の避難経路を知る
6月	活動中に給食室から出火 （職員対象に防犯対策）	給食室出火時の避難経路を速やかに 避難する（サスマタの使用方法を知る）
7月	活動中に地震で給食室から出火	給食室出火時の避難経路を速やかに避難する
8月	活動中に非常階段倉庫から出火	合図を聞き分け保育士の指示を聞く
9月	活動中に軽度の地震発生 防犯訓練	地震に対する避難方向を理解する 防犯について知る
10月	活動中に給食室から出火 （職員に知らせない）	給食室出火時の避難経路を速やかに 避難する
11月	活動中に給食室から出火 消防署立会い訓練）	給食室出火時の避難経路を速やかに 避難する
12月	活動中に北側住宅から出火 関空社宅集会場 （職員に知らせない）	合図を聞き分け保育教諭の指示を聞き速やか に避難する
1月	活動中軽度の地震発生	合図を聞き分け保育教諭の指示を聞き速やか に避難する

2月	活動中に南側住宅から出火 (中学校側の住宅)	合図を聞き分け保育教諭の指示を聞き速やかに避難する
3月	活動中に地震に伴う津波訓練	地震に対する避難方向を理解する 保育教諭の指示で避難場所に避難する

職員に開始時間を知らせない避難訓練や、年2回貝塚市立第五中学校の校舎3階までの避難訓練を実施。(津波発生を想定した避難訓練では貝塚市立第五中学校まで、通常約5分で避難完了する。)また、新たに避難車1台を追加購入した。

○外部講師依頼

手話講師・絵画指導

○わらべ歌の充実

保育教諭が作成したわらべ歌12カ月シリーズのCDを基本に活用した。

○絵本の充実

のんびりルームに新刊83冊を目標に追加した。

絵本の救急箱を設置して、破損している絵本管理した。

今年度に購入した絵本紹介を冊子にした。

4. 子育て支援事業の充実

○こども園体験事業(スマイルキッズ・園庭開放 絵本の貸出 ・グルメランチ)

・貝塚市立二色小学校職業講話等担当・地域交流事業を行った。

○小学校 (貝塚市立二色小学校)

・毎月年長児が、園だより・給食だよりを小学校に届け、子どもたちが校長・教頭先生から小学校での生活の様子を聞いた。(園だより、給食だよりは小学校玄関で掲示)

・おもちゃ広場、2年生と年長児が交流した。

・幼保連携認定こども園教育・保育要領に基づく全体的な計画を持参して指導内容の連携に努めた。(定期的に校長・教頭との懇談会を行った)

中学校 (貝塚市立第五中学校)

・津波に伴う平日の避難訓練を平成3年1月17日(木)・3月11日(月)第五中学校の校舎に避難した。

・2月に貝塚市立第五中学校3年生と4・5歳児クラスがふれあい遊びを行った。

・まちかど学級園(地域に配布されたビオラの苗を育てる)

○公民館 (浜手地区公民館)

・公民館の片隅のおおぞらブースに、子育てのアドバイス・園だより・給食だより地域子育て講座等のお知らせを掲示した。

・5歳児クラスが公民館で子どもロビーコンサートを開催した。

・公民館主催の人形劇鑑賞会に出演した。(おおぞら劇団)

・茶道クラブとの交流を行った。

地域

- ・盆踊り大会に参加した。園児盆踊り披露、職員模擬店、踊り隊、本部迷子係)
- ・地域シニア世代交流
 - うぐいすクラブ(シニア世代の方々と園児が遊びを楽しむ)と交流した。
 - 老人ホーム安心住宅訪問・公民館茶道クラブと交流した。

○地域関係機関・団体との連携

- ・二色校区福祉委員会に参加した。
- ・年3回すこやかネット会議に参加した。(地域教育協議会・学校支援地域本部)
- ・常任委員会参加した。
- ・貝塚市立二色小学校・貝塚市立第五中学校の入学式と卒業式に出席した。
- ・貝塚いぶき作業所との交流
 - 玩具の購入・陶芸活動参加・いぶき祭りに園児の作品を展示した。
- ・大阪しあわせネットワーク事業
 - オール大阪社会福祉法人により社会貢献事業で、スマイルサポ - ター<3名>が具体的に活動を行った。(困窮者レスキュー隊)(物品支給)

5. 職務担当

- ・カリキュラム・デイリープログラム等については、園長・主幹保育教諭・保育教諭が子どもの年齢と発達に応じた内容を協議検討し作成し、行事・月当番等担当保育教諭を定め、園長は総指揮に努めた。
- ・運営事務全般等は事務長が総指揮に努めた。
- ・管理栄養士のもと調理員は調理を行い、能率よく総指揮をとった。
- ・給食職員・学校医・薬剤師・歯科医・安全指導員・英語指導員・体育指導員は外部委託契約とする。

6. 教育・保育設備

- ・緑化推進に努めた。
- ・教育・保育環境の備品の設備と充実を図った。
- ・給食備品の設備充実を図った。
- ・用具及び備品の充実を図った。(熱中症暑さ指数計購入)
- ・砂場の砂を追加し環境を整えた。
- ・地域コーディネーターとの連携を行った。

資金の計画

- ・委託費収入と補助金収入で円滑に努めた。
(施設機能強化事業補助金・子育て支援保育士事業補助金)

その他

- ・子ども家庭福祉専門職のための子育て支援入門（ミネルヴァ書房）
当園の環境を通した子育て支援と題して7ページ記載
- ・某大学の論文研究紀要
「生きる力」を育てる教育・保育課程～主体的に環境と関わる力を育てる～
と題して14ページ記載
- ・ホームページにて財務諸表、現状報告書、総括表、事業計画書、事業報告書、苦情報告を公開。
- ・玄関にデジタルフォトフレームを設置し教育・保育活動の写真の公開回数を増やした。
- ・園だよりの裏面に教育・保育の様子写真を連載
- ・園規定等の見直し
- ・職員福利厚生充実
- ・職員体制の改善
- ・研修の充実（キャリアアップ研修に参加）
- ・職員休憩時間の確保

別紙参照書類

- ・職員名簿・園児名簿
- ・年間行事
- ・幼保連携認定こども園教育・保育要領に基づく全体的な計画
- ・体育指導
- ・げんき工房
- ・各クラスの運動遊び
- ・おおぞらカフェ
- ・園外保育
- ・健康指導計画
- ・幼保連携年間計画
- ・食育指導等